

「人が尊重され、生きがいを感じられるあたたかい町」 人権啓発コーナー

氷川町では、平成21年度から各小中学校に学校運営協議会が設置され、「地域とともにある学校づくり」の実現を目指し、様々な取り組みを行っています。

9月29日(火)に「花育活動」として、竜北中学校で学校運営協議会委員と1年生とで4種類の花の種蒔きをしました。種はとても小さく、生徒は芽が出るか心配そうにしています。養分を含んだ土に種を蒔き、水をかけ、新聞紙で土の表面の保温を行いました。この「花育活動」は以下の目的を持った活動です。

- 一 植物も生き物です。育てることは、命を大切にすることへの関心をもつことにつながります。
- 二 花を育てることで「心が和み」「やさしい気持ち」になり人の心を育てます。
- 三 花の話題で人と人とのつながりができ、人の輪が広がります。
- 四 陸上植物は、空気中の二酸化炭素を吸い、酸素を排出する、大切な働きをしています。

中学生が育てる花も来年にはきれいな花を咲かせると思います。



第5回子ども人権教室(ワオクラブ)活動

9月26日(土)に文化センターで第5回子ども人権教室(ワオクラブ)を開催し、町内の小学校1年生から4年生までの17人が紙漉(す)き体験に参加しました。初めて体験する参加者が多く、興味津々の表情で取り組みました。

紙漉(す)きは、日本にある紙(和紙)を作るための職業です。以前は各地で和紙が作られていましたが、現在は和紙作りが行われている地域は少なくなっています。しかし、最近では和紙が見直され、包装紙・名刺・扇子などに使用され、特徴的な活用として「卒業証書」に用いられている学校もあります。

本来の原料は、楮(こうぞ)・三椏(みつまた)を使いますが、今回は牛乳パックを使用しました。はがきサイズで、牛乳パック1枚で約2枚できます。水で湿らせた牛乳パックと水500mlをジューサーミキサーで粉碎します。水槽に粉碎した牛乳パックを入れ、はがきサイズの金網を木の枠ではさみ、水の中にたっぶりつけ、ゆっくり上げます。この時にドライフラワーなどを使用して模様をつける事が出来ます。水分を取り、乾燥したら出来上がりです。



☎ 生涯学習課 生涯学習係 ☎0965-52-5860

八火図書館 だより

新着図書

一般書	児童書
灯台からの響き 宮本 輝/著	ふしぎ駄菓子屋銭天堂⑭ 廣嶋 玲子/作
人生は七転び八起き 内海 桂子/著	だいぶつさまおまつりですよ 荻田 澄子/文
風よあらしよ 村山 由佳/著	ぼくはいしころ 坂本 千明/作
森高千里「この街」が大好きよ 森高 千里/著	雨の日の地下トンネル 鎌田 歩/作
赤ずきん、旅の途中で死体と出会う。 青柳 碧人/著	セラピードッグのハナとわたし 堀 直子/作

読書感想文・感想画を募集します

読書週間の一環として、読書感想文と感想画を募集します。指定図書はありません。読後の感想を作文や絵で表現してください。小中学校は、各学校にて取り組みます。幼児や高校生以上の作品は当館に提出をお願いします。

(12月4日(金)締切)

※原稿用紙と募集要項は、図書館のカウンターに置いてあります。



【お問い合わせ先】
八火図書館 ☎0965-62-3489

立神峡だより

氷川の水質を知り環境を守ろうと竜北東小4年生が立神峡に来園

10月1日(木)に、竜北東小4年生27人が先生に引率され、氷川の上流に位置する立神峡の河原で水質調査や水生生物を調べるために来園しました。

生徒たちは、マイクロバスを降りたあと、上流の龍神橋を恐る恐る渡って到着しました。

はじめに講師の先生の話聞き、河原に移動しました。そこで、各班ごとに分かれて川に入り、石を転がしたり、網を使って石の下に生息する水生生物を捕まえていました。

その後、バケツに入れて持ち帰り、管理棟横のベランダで資料を見ながら観察しました。

快適な水環境の中でしか生息しないとされるカワゲラ・ナガレトビゲラ・ヘビトンボ・ヒラガタカゲロウなどを見て、清流氷川の環境の良さに気付くとともに、環境を汚さないことの大切さを学び、氷川の環境を守ろうと努力することを学びました。



立神峡でイクメンパパとイクメンママが楽しくキャンプ

立神峡では、キャンプサイトなどでデイキャンプやバーベキューを楽しもうと、福岡県や熊本市内から3密を避け、空気の綺麗な場所で仲間と楽しく過ごす人が増えています。

特に、コロナの影響で、ソーシャルディスタンスという言葉が流行りましたが、現在はお互いに距離を保つことで、家族でステイホームからアウトドアに移行しつつあります。



立神峡は年々、申し込みが増えている状況です。9月の4連休は、行楽地はどこも観光客が増え、活気が戻って来ました。

そんな中、頭と胸に幼児を乗せるためのベビーキャリア姿のイクメンパパがいました。尋ねると、両手が自由に使えるのでとても便利との事。

また、テントサイトでは、福岡県からアメリカ人の男性と3歳の男の子がキャンプ。聞けば、奥さんはドイツ人との事。これがまた、イクメンパパで、子どもも可愛い。

そんな中で、楽しい時間が立神峡では過ぎて行きます。



【お問い合わせ先】 立神峡公園管理棟
☎ 0965-62-1543 FAX0965-62-1546 (8:30~17:30 火曜定休日)

